

図書情報センター入館管理システム

仕 様 書

平成 28 年 3 月

公立大学法人滋賀県立大学

経営企画グループ

1 導入の目的

図書館の入退館管理システムは、学生教職員証により入館資格をチェックする入館管理システムと、資料の不正持ち出しをブザーで警告するブックディテクション機能を備えた退館管理システムで構成される図書館のセキュリティシステムである。現在の滋賀県立大学図書情報センター（以下「本センター」という。）の入退館管理システムは平成16年度に導入した磁気カード対応の機種で、本学が進めているICカードには対応していない上に、経年劣化に伴う破損や誤作動がたびたび発生している。

入退館管理システムのうち、学生教職員証による手続きが必要な入館管理システムについて、ICカード対応の機種に更新することにより、利用者の入館手続きがスムーズに行えるようにするとともに、図書館による入館者管理と利用状況の把握が正確かつ容易に行えるようにする。

2 調達物品名

図書情報センター入館管理システム一式（搬入、据付、調整作業、および現有システム一式の撤去・廃棄を含む）

（構成内訳）

(1)入館ゲート	2 通路
(2)リモコンボックス	1 台
(3)管理用ソフトウェア	1 式
(4)管理用パソコン	1 式

3 調達物品の要求機器仕様

3-1 基本要件

- 3-1-1 図書館への入館に際し利用する所定のカードのデータを元に利用者の入館可否を判定し、入館許可された利用者についてのみゲートの開放を行うものとする。
- 3-1-2 入館者情報、入館時刻、ゲートの処理内容等の履歴を全てデータベースに蓄積し、必要に応じた形式で利用者データの集計が行えるものとする。
- 3-1-3 上記の集計データは、集計表、グラフの印刷やCSV ファイル形式等での外部出力が容易に行えるものとする。

3-2 性能、機能に関する要件

3-2-1 入館ゲート

- (1) 入館ゲートは、フラッパー開閉式の通路遮断機と入館用非接触ICカード読取装置からなること。
- (2) ゲートは2通路とし、うち1通路は通路幅900mm以上で車椅子が通行できること。
- (3) 入館用非接触ICカード読取装置は、滋賀県立大学（以下「本学」という。）が学生証、職員証、図書館カード、臨時カード（以下「利用者証」という。）として使用するFeliCaカードに対応していること。
- (4) 入館時は、入館用非接触ICカード読取装置で読み取った利用者証の情報をあらかじめ登録されている利用者データと照合して入館の可否を判定し、フラッパーの開閉を行うこと。
- (5) 利用者証の読み取りおよびゲート通過に必要な処理時間は、1件3秒以内であること。
- (6) 利用資格のない者やゲートを不正に通過しようとする者（ゲートのすり抜け、逆進入等）に対して、フラッパーを閉じた状態にロックし、警告音を発する機能を有すること。
- (7) サービスカウンター内から、リモコンにより、入館ゲートの電源操作やフラッパーの開閉が行える遠隔操作機能を有すること。
- (8) 停電時、非常時には、フラッパーが手動で前後方向に開閉できる機能を有すること。
- (9) 停電後の復電時には自動復旧し、正常に動作可能とすること。
- (10) 管理用パソコンが停止状態にある場合やネットワークに障害が発生した場合は、ゲート部のみの単独運転ができること。その際、入館履歴は5,000件以上保持でき、管理用パソコンが復旧時に自動でパソコンへ取り込み反映させること。

3-2-2 リモコンボックス

- (1) リモコンボックスはサービスカウンター内に備えること。
- (2) サービスカウンター内から、入館ゲートの電源操作やフラッパーの開閉が行えること。

3-2-3 管理用ソフトウェア

- (1) 入館ゲートから送られる入館用非接触 IC カード読取装置で読み取った利用者証の情報をあらかじめ登録している利用者データと照合し、有効期限の切れている者や利用者データが存在しない者については入館不可と判定すること。
- (2) 利用者データとして利用者 ID、身分、所属、有効期限を保持する機能を有し、3 万件以上の利用者データを管理制御できること。
- (3) 利用者データは、本学の図書館システム(リコー社製 LIMEDIO) と学内ネットワークで連携し、管理用ソフトウェア起動時に、利用者データの自動更新ができること。また、手動でも登録・変更・削除できること。
- (4) 本センターが指定する条件(利用者 ID、身分、所属など)による入館履歴検索ができること。
- (5) 本センターが指定する条件(利用者 ID、身分、所属など)によって日計、月計、年計の入館者数が集計できること。
- (6) 上記の統計類はプリンターへ出力でき、CSV ファイル形式でエクスポートできる機能を有すること。
- (7) 登録データ、入館履歴、入館者数データのバックアップ機能を有していること。
- (8) 入館履歴、入館者数データは3 年以上のデータが保持できること。

3-2-4 管理用パソコン

- (1) 管理用パソコンはカウンター内に一式を備えること。
- (2) 装備品は、パソコン1 台、ディスプレイ1 台、日本語キーボード1 台、光学式マウス1 台、無停電電源装置1 台とする。
- (3) CPU はインテル®Core™i3-4150 Processor (3.5GHz) と同等以上、メモリは8GB 以上、ハードディスクの容量は500GB 以上あること。
- (4) 1000BASE-T/1000BASE-TX/10BASE-T に準拠したネットワークインターフェースを有し、学内ネットワークに接続できること。
- (5) USB2.0 ポートを2 つ以上装備していること。
- (6) OS は日本語対応の Windows8.1 Pro 64bit 日本語版と同等以上で、本システムが支障なく動作できることが保証されているものであること。
- (7) 停電時にシステムを自動的にシャットダウンさせる機能を有し、停電復旧後は自動で起動すること。
- (8) 導入時において、すでに公開されているセキュリティパッチを適用すること。
- (9) 大学所有のライセンスにおいて、ウイルスソフトを導入すること。
- (10) システムおよびデータのバックアップが可能なこと。
- (11) ディスプレイは17 インチ液晶カラーディスプレイであること。
- (12) 無停電電源装置は停電後5 分以上の保持機能があること。
- (13) 本センターが所有する複合機プリンター (FUJI XEROX DocuCentre-IV C4470) に対応すること。

3-3 機能、性能以外の要件

3-3-1 設置条件

- (1) 本システムの稼働は平成28 年6 月1 日からとする。
- (2) 搬入、据付場所は次のとおりとする。
滋賀県立大学図書情報センター (滋賀県彦根市八坂町2500)

3-3-2 設備条件

- (1) 本システムと本学の図書館システム(リコー社製 LIMEDIO)の間で有効な情報セキュリティ対策を講じること。設定は大学側と協議の上、供給者において行うこと。
- (2) 利用者データの自動更新にかかる設定は、本学の図書館システム(リコー社製 LIMEDIO) 契約会社と調整の上、供給者において行うこと。
- (3) その他本システムを支障なく稼働するうえで必要な機器は供給者が提供すること。
- (4) 本調達には、搬入、据付、配管、配線、調整、現有システム一式の撤去および廃棄を含む。受注者は、現有システム一式の撤去、処分にあたり、「産業廃棄物の処理および清掃に関する法律」ならびに関係法令を遵守し、適正に行うこと。
- (5) 本調達物品への供給電源は単相 100V (60Hz) とし、それ以外に必要な設備があれば供給者において用意すること。
- (6) 工事終了後、フロア、フェンス等原状に近い状態に復帰すること。

3-3-3 保守体制

- (1) 本調達物品の保証期間は、納入検査完了後1年とし、保証期間中に発生した故障及び不具合等については、無償で修理・対応すること。
- (2) 平日(土、日祭日、本学が指定する休日以外)の9時から17時までにシステムの障害が発生した場合は、迅速に対応できる体制を備えていること。また、これ以外の時間に発生した障害については、電子メールまたはファックスで連絡できる窓口を有すること。
- (3) 本調達物品の取扱説明を行うこと。
- (4) 本調達物品の日本語マニュアルを冊子で1部、電子ファイルで1部提供すること。